

平成24年度計画

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構

1 診療計画及び診療に関する重点事項等

(1) 診療計画

平成24年度は新たな中期目標期間・中期計画期間の初年度であり、診療計画については、設立団体から指示された第2期中期目標及び病院機構が策定した第2期中期計画に基づき実施していくものとする。

第1期中期計画期間における病院運営は、評価委員会等からも高い評価を得るなど順調な運営がなされてきた。今後も日本海総合病院においては地域の中核病院として急性期医療の充実に努めるとともに、日本海総合病院酒田医療センター（以下「酒田医療センター」という。）においては回復期医療の取組を進め、将来にわたり継続可能な経営を目指すための努力を続けながら、今年度においても地域医療の向上のために様々な取組を行うものとする。

施設整備については、酒田医療センターにおいて今年度中に増築・改修を完成させ回復期リハビリテーションの充実、通所リハビリテーションへの取組など地域に求められている医療環境の整備を実行し、地域の医療機能の向上を着実に推進するものとする。

日本海総合病院の体制

日本海総合病院の機能

規 模	646床
診 療 科 (25科)	内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科
施 設 基 準	一般病床
併設診療機能	救命救急センター、屋上ヘリポート設置
特殊診療機能	ICU（集中治療室）、HCU（準集中治療室） 未熟児室 感染症病床 放射線治療 外来がん化学療法 セカンドオピニオン外来 緩和ケア 人工透析（急性期） 人間ドック 地域医療室（地域連携・在宅療養支援など）
救急外来機能	診療科全般
そ の 他	病院間移動用ワゴン車、院内保育所

酒田医療センターの体制

平成24年度は、酒田医療センターの増築・改修工事が完成する年度であり、統合再編で掲げた施設整備が完了することとなる。

この施設整備により、地域課題であった回復期リハビリテーション、通所リハビリテーションについても年度中に取組が開始されることになる。なお、現在の東棟の改築と(仮称)回復期リハビリテーション棟の運用が開始するまでは、現在の西棟については、暫定的に療養病棟として活用し、その後解体を行うものとする。

酒田医療センターの機能

規 模	114床
診 療 科 (2科)	内科、リハビリテーション科
施 設 基 準	療養病床
特殊診療機能	地域医療室(地域連携・在宅療養支援など)
そ の 他	病院間移動用ワゴン車

(2) 診療に関する重点事項

診療体制の整備

第2期中期計画期間においても、医療需要の質的・量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、今年度についても、次のとおり診療部門の充実及び見直しを行う。

a) 救急医療(日本海総合病院)

- ・救命救急センターにおける専門医の育成等、その充実について検討を行う。
- ・酒田地区広域行政組合の酒田救急ワークステーションとの連携強化を図り、将来、ドクターカーの配備の検討のため、共同して訓練等を行う。
- ・平成24年12月頃に運航開始予定の山形県ドクターヘリの受け入れ態勢等の整備を図る。
- ・日本海総合病院において酒田市の財政支援のもと、酒田地区医師会等の医師の協力による平日夜間の成人・小児の救急外来に対する診療支援の救急診療体制の維持、継続を図る。

b) がん医療(日本海総合病院)

- ・地域がん診療連携拠点病院としての機能充実
- ・PET-CTの運用開始(平成24年6月中)によるがん治療の強化
- ・手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療の実施
- ・緩和ケア医療の充実
- ・セカンドオピニオン外来の充実
- ・院内がん登録機能、相談支援体制の充実

- c) 脳卒中・急性心筋梗塞(日本海総合病院、酒田医療センター)
 - ・救命救急センターと関係する各診療科、リハビリテーション部門との連携強化を図り、救命率等の向上に寄与する。
 - ・CT、MRI検査の24時間対応の継続
 - ・日本海総合病院における急性期リハビリテーションの充実及び酒田医療センターにおける回復期リハビリテーションとの連携強化を図る。
- d) 糖尿病(日本海総合病院)
 - ・チーム医療による食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた教育入院等の集中的治療の充実
- e) 回復期リハビリテーション(酒田医療センター)
 - ・回復期リハビリテーション機能の充実を図る。
 - ・通所リハビリテーションを平成24年度中に実施する。
- f) 在宅医療支援及び療養支援(日本海総合病院、酒田医療センター)
 - ・地域の介護機関・福祉機関・医療機関との連携を強化するための窓口・相談機能の充実
 - ・かかりつけ医と連携した急性増悪に対する入院受入や定期的に必要な検査、処置の実施などの在宅患者や介護・福祉機関の患者に対する医療支援
 - ・社団法人酒田地区医師会十全堂訪問看護ステーション スワンの酒田医療センター内への設置による地域連携の強化
- g) その他
 - ・2病院間を運行している患者移動用ワゴン車「げんき号」については、今年度も継続して運行する。ただし、運行回数等は1日当たり7往復に減少し、運行経路等について再検討をする。

災害時や健康危機における医療協力

- ・災害時には、災害拠点病院として患者を受け入れるとともに、県の要請に基づき、又は自ら必要と認めたときは、DMAT（災害派遣災害チーム）等、医療スタッフを現地に派遣して医療救護活動を実施する。
- ・災害発生時に備え、地域の医療機関、医師会、自治体等が参加する災害医療訓練に年1回以上参加するとともに、地域の医療従事者を対象とした災害医療研修を実施する。
- ・災害発生時に備え、小型非常用発電装置、医薬品、診療材料、飲料水などの配備・備蓄について、今年度は、小型非常用発電装置の病棟配備について配置箇所等を検討、実施し、医薬品、診療材料、飲料水などの備蓄については、備蓄場所・備蓄施設の設置等について検討する。
- ・水害、津波災害に備えて、非常用発電装置の浸水防止工事について設計等を実施する。
- ・非常用発電機の燃料や医薬品等の優先納入体制の整備を図る。

- ・ 日本海総合病院においては、新型インフルエンザなどの新たな感染症など地域の健康危機事象に山形県と連携して所要の責務を担うとともに、その受け入れ等の体制を整備する。

政策医療の実施

- ・ がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・小児医療・周産期医療などの高度専門医療についても、「山形県保健医療計画」等と整合性を図りながら、民間の医療機関では導入が困難な技術、先進的な技術を先駆けて導入するなど、地域の中核的医療機関としての役割を果たしていく。
- ・ 日本海総合病院においては、第二種感染症指定医療機関として、所要の責務を担うとともに、速やかな感染症患者の受け入れ体制を整備する。
- ・ 日本海総合病院においては、認知症疾患医療センターを運営し、認知症疾患患者の専門医療相談、鑑別診断等について継続して実施していく。

医療スタッフの確保及び資質向上

a) 医療人材の確保・育成

- ・ 高度専門医療等の水準を維持・向上させるため、大学等関係機関との連携の強化や教育研修の充実により、優秀な医師の確保、育成に努める。
- ・ 臨床研修医及びレジデント（専門分野の研修医をいう。）の受入れ拡大に努めるため、教育研修体制の充実を図るとともにレジデントハウスの建築等について検討を行う。
- ・ より質の高い看護を提供するため、計画的に認定看護師・専門看護師の資格取得を促進する。
- ・ 薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の技術職について、研修等を充実し、専門技能の向上を図る。
- ・ 看護師や薬剤師、技師等が、がんや心疾患、糖尿病等に対するチーム医療の実施において、医師とともにメディカルスタッフの一員として、その役割を果たせるよう必要に応じ体制整備を進める。
- ・ 医師の負担の軽減により、医師確保と定着化を促進するため、短時間正職員制度など多様な勤務形態の導入を検討するとともに、医師事務作業補助者（以下「医療クラーク」という。）など医師を支援する職種の活用を推進する。

b) 事務職員の確保と専門性の向上

- ・ 病院経営機能の強化を図るため、事務職員について、プロパー職員の採用等を段階的に進め、研修の充実等による専門的知識の習得を図る。
- ・ 診療情報管理士など専門職種の配置、取得に努めるとともに委託職員の資質向上を図る。

医療サービスの効果的な提供

a) 地域連携の推進

- ・ 庄内地域における中核的な医療機関としての役割を果たすとともに、他の医療機関との役割分担と連携を強化し、地域医療機関との紹介率・逆紹介率の向上や地域連携クリティカルパスの整備、普及等に取り組む。
- ・ 地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携を強化し、介護・福祉機関への患者情報の積極的な提供や、退院時カンファレンスの取組の強化等により、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供ができるように努める。

b) ITネットワークの活用（「ちょうかいネット」の活用推進）

- ・ 平成23年度からインターネットを利用して日本海総合病院の電子カルテ情報（診療録、処方、注射、検査、画像、サマリーなど）を地域内の病院、一般診療所、歯科診療所、薬局、介護・福祉施設などで閲覧できるようにし、また、ファイル化された診療情報を病院や診療所等の相互間で送受信できるシステム（「ちょうかいネット」）について、利用する医療機関等の拡大を図る。
- ・ がん、脳卒中、心筋梗塞などの地域連携クリティカルパスについても「ちょうかいネット」を活用した運用を行なう。

c) 地域連携クリティカルパスの活用

- ・ 5大がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病などについて効果的な医療を提供し、患者負担の軽減にも寄与するため、電子カルテをベースにしたクリティカルパスの作成及び適用を進める。

庄内地域における医療水準の向上

- ・ 地域の中核的な医療機関として、山形大学、東北大学、県立保健医療大学、県立病院などとの人材交流や研修を通して質の高い医療従事者の育成を推進し、庄内地域における医療水準の向上を進める。
- ・ 平成23年度から日本海総合病院内に開設された山形大学医学部先端分子疫学研究所酒田分室の研究体制を支援するため調査活動に対する協力、講演会等の開催支援を継続するとともに、同大学医学部との共同研究等の推進に努める。
- ・ 酒田市立看護専門学校の実習施設として継続して協力するとともに、同校の教員部門を当法人が担うことから、その看護教員の計画的な養成を図る。

住民の意識の啓発

- ・ 地域住民を対象としたセミナー、病院広報紙などの発行を積極的に行い、住民の医療や健康に対する意識の啓発に努める。
- ・ 他の機関が行う地域の医療従事者や住民に対するセミナー等への講師派遣についても積極的に行う。

(3) 患者・住民サービスの一層の向上

- ・ 日本海総合病院においては、外来診療の待ち時間調査を実施し、実態や患者ニーズを把握しながら、患者の利便性の向上に努める。
- ・ 患者、利用者の意見・要望等を聞く投書箱を今後も設置し、一層のサービス向上と業務改善の取組を進める。
- ・ ホームページの充実による病院情報の発信力の強化を図る。
- ・ 日本海総合病院においては、既存棟である外来棟や東西病棟を中心に、外来待合室、診察室、病室、デイルーム、廊下、トイレ、洗面、その他の設備などの改修・補修に取り組み、快適な院内環境の整備に努める。（平成24年度は外来棟、3階西病棟、5階東病棟、5階西病棟を中心に改修・補修に取り組みを予定）
- ・ 日本海総合病院においては、外来患者等の来院状況等を勘案し、患者用駐車場の拡張について検討、実施する。
- ・ 地域住民に対する医療セミナーの開催など、患者・住民の目線に立ったサービスの向上の取組を進める。
- ・ 日本海総合病院において平成20年度から実施した重症心身障がい児（者）短期入所事業については、在宅療養をされている重症心身障がい児（者）が家族の疾病等の理由により介護できない場合に日本海総合病院の空ベッドを利用して一時的に入所サービスの提供を行う事業であり、そのサービスの継続を図る。
- ・ 酒田市からの委託事業である病児・病後児保育事業を日本海総合病院の院内保育所「あきは保育園」において継続し、病児・病後児の「保育と看護」を医療隣接型で実施することにより、地域の子育て支援と児童の健康、安心の向上を図る。

(4) 法令等の遵守と情報公開の推進

- ・ 法令等に基づき、医療従事者としての行動規範、倫理等について規則化し、所要の研修を行う。
- ・ 医療情報のセキュリティ対策の向上に努めるとともに職員、委託職員を含めた院内研修を実施する。
- ・ インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ・レセプト等医療情報の情報開示については、山形県情報公開条例及び個人情報保護条例の適用のもとに、県の機関に準じて適切に対応する。

(5) 医療安全対策の充実・強化

- ・ 安全・安心な医療を提供するための安全管理体制を整備し、インシデントのレポート収集、分析とリスク回避の方策の周知を進めるため、年1回以上の院内研修会の開催や定期的な院内広報の発行など、患者安全管理体制の推進・強化に努める。
- ・ アクシデントが発生した場合は、迅速に対応するとともに、速やかに報告書を

作成し、医療安全管理者に報告する。医療安全管理者は各部署の患者安全推進者と連携し、事故の分析を行い、適切な再発防止策を講じ、医療安全の向上に努める。

2 施設整備及び医療機器等の整備計画

(1) 統合再編に係る施設整備

酒田医療センターの増築・改修工事については、平成21年度に中期計画を変更し療養病床として整備を図るとともに、回復期リハビリテーション病棟、通所リハビリテーション施設も整備する計画とした。平成22年度に基本・実施設計を行い、増築・改修工事の発注を行い、平成23年度からは2年間の予定で増築、改修工事に着手を開始し、平成24年度末で全ての工事が完成する予定である。

酒田医療センターの施設整備予定内容

項目	内容
東棟改修	<ul style="list-style-type: none"> ・70床(2病棟) ・機能訓練室
(仮称)回復期リハビリテーション病棟増築	<ul style="list-style-type: none"> ・44床 ・通所リハビリテーション施設 ・給食施設
(仮称)エントランス棟	西棟の解体後に東棟と(仮称)回復期リハビリテーション病棟をつなぎ入口部分となるもの。

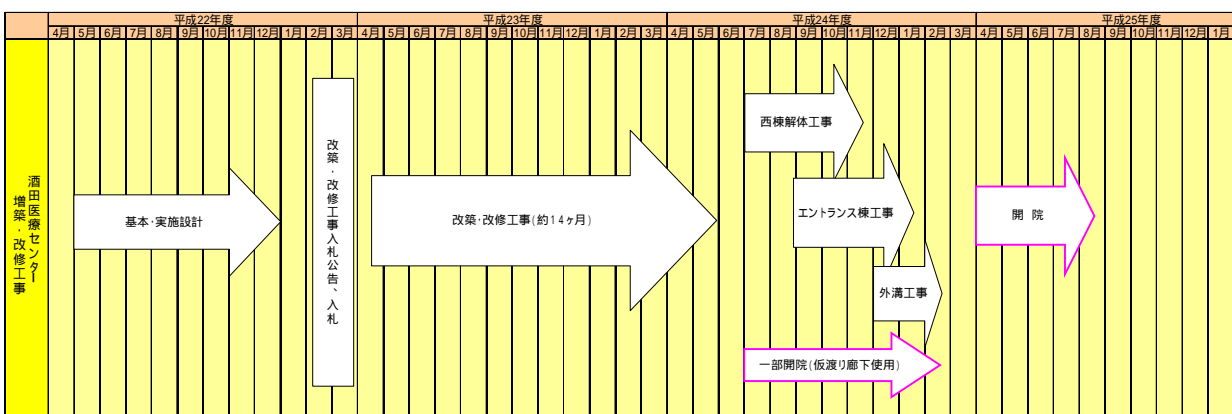
西棟解体は東棟改修、(仮称)回復期リハビリテーション病棟増築の完成後に実施する。

< 施設整備のスケジュール >

日本海総合病院酒田医療センター

- ・基本設計・実施設計：平成22年度
- ・工事期間：平成23年度から平成24年度

日本海総合病院、酒田医療センターの増築・改修工事のスケジュール



(2) 高度医療機器の計画的な更新・整備

- ・ 高度専門医療等の充実のため、平成24年度は以下のとおり高度医療機器の更新・整備を行う。
- ・ 高度医療機器の更新・整備に当たっては、稼働率や収支の予測を十分に行った上で進めるものとする。

<平成24年度の医療機器整備費(長期借入金対象)>

(単位:百万円)

病 院 名	事業費	主 な 内 容
日本海総合病院	520	320列CT、PET-CT
酒田医療センター	80	リハビリ機器
合 計	600	

【平成24年度における医療機器・施設整備に関する計画】

(単位:百万円)

区 分	予 定 額	財 源
資本支出		
建設改良費	2,049	設立団体からの 長期借入金、出 資(出資債)等
酒田医療センター増築・改修等	959	
医療機器整備	719	
その他(改修工事等)	371	

3 患者数の見込みと収支計画

平成24年度における患者数の見込みと予算、収支計画、資金計画については以下のとおりとする。

(1) 患者数の見込み(平成24年度)

(単位：人、%)

		平成24年度			平成23年度 (当初予算ベース)		
		日本海	酒田	合計	日本海	酒田	合計
入院	病床数	646	114	760	646	114	760
	1日当たり	555.0	68.4	623.4	565.0	96.0	661.0
	病床利用率	85.9	79.3	-----	87.5	88.9	-----
外来	1日当たり	1,414.0	1.7	1,415.7	1,360.0	2.0	1,362.0

(2) 予算(平成24年度)

(単位：百万円)

区 分	日本海	酒田	合計
収入	18,509	1,971	20,480
営業収益	15,889	533	16,422
医業収益	15,296	514	15,810
運営負担金	593	19	612
営業外収益	1,117	343	1,460
運営費負担金等	962	337	1,299
その他	155	6	161
資本収入	1,503	1,095	2,598
運営費負担金	883	56	939
長期借入金	620	606	1,226
その他(補助金等)	0	433	433

(単位：百万円)

区 分	日 本 海	酒 田	合 計
支 出	17,621	2,278	19,899
営業費用	14,375	933	15,308
医業費用	14,159	933	15,092
給与費	7,429	566	7,995
材料費	3,955	20	3,975
経費	2,700	340	3,040
資産減耗費	4	0	4
研究研修費	71	7	78
一般管理費	216	0	216
営業外費用	716	12	728
資本支出	2,439	1,185	3,624
建設改良費	948	1,101	2,049
長期借入金返還金	1,491	84	1,575
その他の費用	91	148	239

(注1) 建設改良費及び長期借入金等元金償還金に充当される運営費負担金等については、資本助成のための運営費負担金等とする。(以下、同じ)

(3) 収支計画(平成24年度)

(単位：百万円)

区 分	日 本 海	酒 田	合 計
収入の部	17,006	876	17,882
営業収益	15,889	533	16,422
医業収益	15,296	514	15,810
運営費負担金収益	593	19	612
営業外収益	1,117	343	1,460
運営費負担金収益	962	337	1,299
その他医業外収益	155	6	161

支出の部	16,466	1,413	17,879
営業費用	15,649	973	16,622
医業費用	15,433	973	16,406
一般管理費	216	0	216
営業外費用	716	12	728
その他の費用	101	428	529
純利益	540	537	3

(4) 資金計画(平成24年度)

(単位:百万円)

区 分	日本海	酒 田	合 計
資金収入	23,056	4,352	27,408
業務活動による収入	17,006	876	17,882
診療業務による収入	15,296	514	15,810
運営費負担金による収入	1,555	356	1,911
その他の業務活動による収入	155	6	161
投資活動による収入	883	489	1,372
運営費負担金による収入	883	56	939
その他の投資活動による収入	0	433	433
財務活動による収入	620	606	1,226
長期借入による収入	620	606	1,226
前年度からの繰越金	4,547	2,381	6,928
資金支出	17,621	2,278	19,899
業務活動による支出	15,182	1,093	16,275
給与費支出	7,429	566	7,995
材料費支出	3,955	20	3,975
その他の業務活動による支出	3,798	507	4,305
投資活動による支出	948	1,101	2,049
有形固定資産の取得による支出	948	1,101	2,049
財務活動による支出	1,491	84	1,575
長期借入の返済による支出	460	0	460
移行前地方債償還債務等の償還による支出	1,031	84	1,115
翌年度への繰越金	5,435	2,074	7,509

4 その他業務運営に関する事項

(1) 就労環境の整備

- ・日本海総合病院の院内保育所「あきほ保育園」については、24時間保育所の運営の継続と24時間保育の日数等の拡大を検討する。
- ・院内保育所「あきほ保育園」に併設して実施している病児・病後児保育事業(一部、酒田市からの委託事業)を継続し、職員の子育て支援の拡充を図る。

(2) 酒田市立酒田看護専門学校への支援

平成22年度から酒田市立看護学校として開校した「酒田看護専門学校」の実習施設として継続して協力するとともに、その教育部門を当法人が担っていることから、酒田市と連携し当機構の看護職員を対象に看護教員としての育成に努める。

(3) 人間ドック機能の見直し

日本海総合病院において実施している人間ドックについては、日本海総合病院における急性期患者の増加により、CTやMRIなどの検査が大変込み合っているため、財団法人山形県結核成人病予防協会や診療所等との連携を図り、検査等の機能分担について検討し、地域の検診体制の強化・連携を図る。

(4) 地球環境にやさしい病院づくり

日本海総合病院においては、地球環境にやさしい病院づくりのため、ソーラーパネルの設置やLED照明の導入を検討する。

(5) 酒田市飛島診療所への支援

酒田市の離島にある飛島診療所は、平成24年度から常勤医師が不在となることが予想されるため、常勤医師が確保されるまでの間、酒田市の要請に基づき、日本海総合病院の医師が週に1回の割合で飛島診療所の診療支援を行う。